

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月8日

事業所名 放課後等デイサービス だいち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	収納の徹底	少人数利用は余裕があるが、大人数の日は手狭に感じる。 備品等の配置換えを行い、スペース確保に努める。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		利用数に対し、職員数が多い時もある。 シフト管理を徹底し、調整していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		保護者の意見を反映しより良いサービスへ繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	ホームページ活用	法人ホームページに搭載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		外部評価の機会を設けることを目指して調整を進めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		全職員を対象に参加調整を続けていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		月一の全体ミーティング時、もしくは常勤職員で集まり話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		長期休暇時はクッキング等、活動時間が必要な支援を計画し、取り組む内容を時期に応じて決めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	職員ミーティングの実施	職員ミーティングを活用して、利用児の近況を共有しながら支援計画の作成を行い実施に向けて準備しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	スタートミーティングの実施	活動前にスタートミーティングを行い、支援内容について確認を行い、職員間で役割を認知しやすいようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		送迎に出る為、業務後の時間確保が難しく、翌日等に実施ができるように調整するようになっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援日誌の記録	今後も支援後の記録を確実に行っていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	モニタリングの実施	半年に1回を目途に保護者モニタリングを実施するように調整します。保護者のお仕事の都合等もふまえ、負担にならないように時期を調整しながら行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		会議の対象児童の近況に応じて、参加メンバーを考えて出席するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	迎え時の教諭との情報共有の徹底	お迎え時に担任教諭とコミュニケーションを取る時間が設けられるように心掛けています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0		必ず、フェイスシート、サマリを受け取り、体調について理解できるようにしている。主治医に直接尋ねることが難しい事例もある為、保護者伝いで結果を聞いてもらっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		直接の繋がりを作る機会はできていないが、保護者を通じて情報提供等を依頼しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		まだ、卒業生がでていません。卒業する際は情報提供を行えるように進めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		近隣に同様の施設が少ない為、今後の実施について検討を続けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	連絡帳・SNSの活用	連絡帳を通じて家庭での様子を把握するようにしています。また、保護者からのニーズに応じ、SNSの活用を始め、支援等について連絡を気軽に取れる環境を整えるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2		ペアレント・トレーニングについての情報が少ない状態の為、実態調整を進めます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	重要事項説明書を使った説明	契約時に重要事項説明書にて説明を徹底するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		開催に至っていないが、保護者からのニーズや希望をふまえて実施に向けた調整を続けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情報告書の作成	苦情等は職員間で共有し、原因・対策を考え再発防止に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	SNSの活用	発信する媒体が不足していた為、パンフレットの見直しとInstagramの開設準備を行っており改善を目指しています。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付き棚の活用	フェイスシートや写真の管理について注意喚起を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	秋祭り等の参加	コロナ禍により、開催見送りが続いている。世間の状況に合わせて参加等を検討していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	避難訓練の実施	法人で定期的に行っている訓練に参加しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	虐待防止委員会の実施	法人で虐待防止委員会を開き、それに伴い研修の開催や職員への情報の周知を徹底するように今後も続けていきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	情報提供の徹底	法人の厨房と連携しアレルギーのある児童への給食提供の際は医師の指示書をもとにするなど、確認を徹底するようにしています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	報告書作成	ミーティング時を活用し、近々であった事例をあげて周知、喚起するようにしています。